

事業名	道路橋りょう管理費			調書番号	93
細事業名	道路情報モニター委嘱費	財務コード	131114		
担当部課室	県土整備 部	道路管理 課	道路管理 担当 (内線)	7262	

事業の概要

実施期間	始期 不明 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	異常気象時通行規制区間を要する県管理道路	道路情報モニターからの情報収集による異常気象時における道路状況の把握
結果、何に結びつけるのか	道路利用者の安全及び円滑な通行の確保	
内容	<p>異常気象時において、異常気象時通行規制区間の通行が危険と認められる場合、道路情報モニターが広域的かつ迅速に道路情報を収集し、道路管理者への情報提供を行うことにより、道路の交通安全と円滑化を図る。</p> <p>・活動内容：道路の異常発生状況の収集、通報(情報料 400円/回)</p> <p>・委嘱者数：H24 45名 H25 44名 H26 38名 H27 35名 H28 36名 H29 35名</p> <p>・異常気象時通行規制路線数、区間数：H24 H25 47路線(65区間) H26 H27 47路線(64区間) H28 H29 47路線(63区間)</p>	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(見込)	30年度	
活動指標	通報回数(2回/人)	目標	90	88	76	70	72	70	84
		実績(見込)	112	73	84	62	53	94	
		達成率	124	83	111	89	74	134	
		達成区分	a	b	b	b	c	a	
成果指標	事故が無かった区間	目標	65	65	64	64	63	63	63
		実績(見込)	65	65	64	64	63	63	
		達成率	100	100	100	100	100	100	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		63	29	34	25	21	38	288	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	c	評価
成果指標	b	
報告回数は53回と前年度より減少しているが、道路情報モニターによる広域的かつ迅速な道路情報の提供により、的確な通行規制が実施でき、事故が無かった区間は100%となっており、交通の安全が図られている。		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補正する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()	
有効性(成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない	
	説明	報告対象に降雨時以外の道路の陥没等、道路の異常についても取り入れるとともに、道路情報モニターに研修資料を配付するなどサービス水準の向上を図ることが可能。	
見直しの余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()	
その他	説明		
見直しの必要性	有	近年、道路利用者の安全で快適な通行をすることへの意識が向上しており、きめ細やかな道路の維持補修が求められる。それに対応するため道路情報モニターを活用し、道路管理サービス水準の向上を図る必要がある。	

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	時代のニーズに合った対応をするため、道路情報モニターの適切な配置をするよう見直しを行う。また、報告対象に降雨時以外の道路の陥没等、道路の異常についても取り入れるとともに、道路情報モニターに研修資料を配付するなどサービス水準の向上を図る。今後も引き続き、道路の適正な管理のため、道路情報モニターと連携を密にする。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。